

第22回 TAMA NEW WAVE

グランプリ／ベスト女優賞(上原実矩)

第15回 田辺・弁慶映画祭

グランプリ／観客賞

フィルミネーション賞／俳優賞(若杉風)

「なんで私なの？
つまらない絵になるよ」

ミュージーは 溺れない

上原実矩 若杉 風 森田 想 川瀬陽太 広澤 草
新海ひろ子 渚まな美 桐島コルダ 佐久間祥朗 奥田智美 菊池正和 河野孝則

監督・脚本・編集：浅雄 望 撮影監督：大沢佳子(J.S.C) 制作担当・スケジュール：半田雅也 照明：松隅信一 美術：栗田志穂 ヘアメイク：佐々木ゆう
監督助手：吉田かれん 撮影助手：岡田拓也 油絵：大柳三千絵、在家真希子 録音：川口陽一 整音・効果：小宮 元、森 史夏 カラリスト：稲川実希
音楽：古屋沙樹 音楽プロデューサー：菊地智教 スチール：内藤裕子 企画・制作・プロデュース・配給宣伝：カプフィルム / 2021年 / 82分 / 16:9 ©カプフィルム

「それは私が
決めることだよ」

足りない色、足りない部品——。合わせてみたら、息できた。

創作への熱い思いが炸裂する青春映画が誕生！

美術部に所属する高校生の朔子は、船のスケッチに苦戦している最中に誤って海に転落。

それを目撃した西原が「溺れる朔子」の絵を描いて絵画コンクールで受賞、絵は学校に飾られるハメに。

悔しさから絵の道を諦めた朔子は、取り壊しの決まった家で「船」をモチーフとした新たな創作に挑戦しようとするが、西原から「次回作のモデル」を頼まれてしまい…。アイデンティティのゆらぎ、創作をめぐるもがきなど、葛藤を抱えながらも前進しようとする高校生たちのひと夏を瑞々しく鮮烈に描き切った傑作が、ついに拡大公開。



上原実矩

『この街と私』



若杉 風

『MINAMATA - ミナマター -』



森田 想

『アイスと雨音』



あさおのぞみ

2つの映画祭でグランプリを獲得。恐るべき新鋭監督・浅雄望の長編第一作！

主人公の朔子を演じるのは、主演作『この街と私』ほか話題作への出演が続く上原実矩。朔子と相対する西原役には、『MINAMATA- ミナマター -』など性別を問わず様々な役で活躍する若杉風。朔子の親友・栄美役には『アイスと雨音』の森田想。SF 研究部の部員役に渾身の美、桐島コルガなどフレッシュなキャストの脇を川瀬陽太、広澤草などベテラン陣が固める。監督は、万田邦敏監督、大九明子監督のもとで助監督をつとめながら

中・短編を制作してきた浅雄望。撮影監督に大沢佳子、照明に松隈信一、美術に栗田志穂など精鋭が揃った。2019年に撮影を開始し、2年がかりで完成した本作は、新人監督の登竜門とされるTAMA NEW WAVEと田辺・弁慶映画祭の双方でグランプリに輝いた他、ベスト女優賞、観客賞など計6冠を獲得。テアトル新宿での初公開時には、ロコミで満席回も出るなど、映画祭史に残る盛り上がりを見せ、大きな話題となった。

少女が海へと落下する。
 どうやら彼女たちの立っている世界は
 不安定らしい。
 それでも作ったり壊したり、
 書いたり消したりを繰り返しながら、
 未来絵図を築いてゆく。
 わたしたちは
 誰を好きになってもいいし、
 誰も好きにならなくてもいい。

児玉美月 (映画執筆家)



■日時：1/14(土) - 1/20(金) ①14:50-16:15

1/21(土) - 1/27(金) ①17:10-18:35

■料金：一般1,700円/シニア(60歳以上)1,000円 ■休館日：毎週火曜日

■お問合せ：TEL. 027-212-9127 前橋市千代田町 5-1-16 アーツ前橋上3階

舞台挨拶のご案内

【日時】1/14(土)14:50-上映終了後

【登壇】浅雄望監督

お問合せはシネマハウスまで